

エコアクション 2 1 環境活動レポート



活動期間（2018年1月～12月）

[作成日：2019年1月31日]

グリーン・エコ株式会社

目次

1. 環境方針	2
2. 組織の概要	3
3. エコアクション 2.1 認証・登録対象範囲	3
4. 許認可等の状況	4
5. 事業規模	4
6. 車両の状況	4
7. 環境負荷の状況	5
8. 環境組織図	5
9. 環境目標（3か年計画）	6
10. 環境活動実績	7
11. 環境活動内容と取組結果の評価	8
12. 緊急事態対応訓練	9
13. 環境コミュニケーション	9
14. 環境関連法令の順守状況の確認	11
15. 次年度の取り組み計画	11
16. マネジメントレビュー	12

1. 環境方針

当社は産業廃棄物収集運搬事業において、二酸化炭素排出量削減に取り組み、環境負荷低減及び循環型社会の実現に貢献いたします。また、廃棄物及び資源物活用コンサルティング事業においては、再資源化・リサイクルルートを顧客へ提案し、リサイクル推進に貢献いたします。

当社に関連する環境関連法令等を順守します。また、廃棄物の形状に見合う収集運搬車両・運搬方法を的確に選定し、適正処理及び適正運搬に取り組み、排出事業者との信頼関係を築きます。

以下の活動に具体的に取り組み、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。

- ・省エネ活動に取り組み、二酸化炭素排出量削減に努めます。
- ・エコドライブに取り組み、運搬車両燃費向上に努めます。
- ・分別活動に取り組み、一般廃棄物排出量の削減に努めます。
- ・廃棄物活用コンサルティング提案により、収集運搬量の拡大に努めます。
- ・グリーン購入の推進に努めます。

なお、当社環境方針は、全ての従業員に周知します。

2017年1月1日制定

グリーン・エコ株式会社

代表取締役 田淵 浩太

2. 組織の概要

- ・組織名：グリーン・エコ株式会社
- ・代表者：代表取締役 田淵 浩太
- ・法人設立年月日：平成 24 年 4 月 11 日
- ・資本金：1,000 万円
- ・本社所在地：千葉県千葉市若葉区千城台西 1 丁目 4-7KNビル 201 号
- ・更科車庫所在地：千葉県千葉市若葉区更科町 1640-1
- ・環境管理責任者：営業担当 渡部 貴志
- ・担当者連絡先：043-312-5858（営業担当）
- ・FAX 番号：043-312-5859
- ・e-mail：info@green-eco-kk.com
- ・homepage：http://www.green-eco-kk.com
- ・事業内容：産業廃棄物収集運搬、廃棄物及び資源物活用コンサルティング

3. エコアクション 2 1 認証・登録対象範囲

当社の全事業所及び全事業活動において、エコアクション 2 1 活動を行っています。

(1) 対象事業所

本社：千葉県千葉市若葉区千城台西 1 丁目 4-7KNビル 201 号

更科車庫：千葉県千葉市若葉区更科町 1640-1

(2) 対象事業活動

産業廃棄物収集運搬、廃棄物及び資源物活用コンサルティング

4. 許認可等の状況

産業廃棄物収集運搬業（積替え保管除く、特別管理産業廃棄物を除く。）

行政	許可番号	許可年月日	有効期限	取り扱う産業廃棄物の種類
茨城県	第 00801 177153 号	平成 27 年 7 月 15 日	平成 32 年 7 月 14 日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
埼玉県	第 01100 177153 号	平成 28 年 5 月 2 日	平成 33 年 5 月 1 日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
千葉県	第 01200 177153 号	平成 26 年 4 月 18 日	平成 31 年 4 月 17 日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
神奈川県	第 01400 177153 号	平成 29 年 4 月 12 日	平成 34 年 4 月 11 日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

注・・・自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。

5. 事業規模

- ・敷地面積（本社及び更科車庫）：1,161 m²
- ・従業員数：13 人
- ・売上高（3 月決算）：307 百万円（2018 年 4 月～2019 年 3 月）
- ・産業廃棄物収集運搬量：9,255 トン

6. 車両の状況

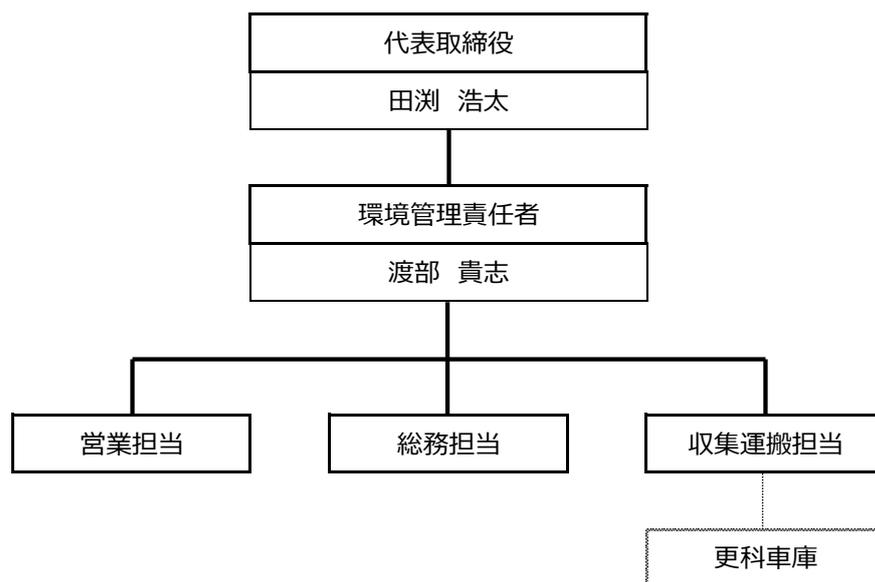
- ・アームロール車 4 台、平ボディ車 3 台、パッカー車 2 台

7. 環境負荷の状況

項目	単位	年間実績（2018年1月～12月）
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	206,587※
産業廃棄物収集運搬量	トン	9,255

平成 27 年度二酸化炭素排出係数（東京電力エナジーパートナー調整後排出値）0.491(kg-CO₂/kWh)を使用

8. 環境組織図



《役割・責任》

社長	環境方針の策定 代表者による環境システム全体の見直し 必要な経営資源（設備・人材等）の投入
環境管理責任者	環境経営システムの確立・実施・維持 代表者見直し時に環境活動状況報告
営業担当	営業担当内の環境目標への取組実施 産業廃棄物収集運搬契約書の締結・管理、顧客調整
総務担当	総務担当内の環境目標への取組実施 マニフェスト、帳簿、実績報告の管理 配車依頼の受注
収集運搬担当	収集運搬担当内の環境目標への取組実施 産業廃棄物収集運搬の実施 駐車場の管理

9. 環境目標（3か年計画）

2018年1月、目標改定

項目	活動の基本方針	目標設定	単位	基準値	目標値	目標値	目標値
				2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量削減	3年間で3%削減	計画当初	kg-CO ₂	136,969	▼1% 135,599	▼2% 134,230	▼3% 132,860
	二酸化炭素削減	2017年7月目標改定 車両増加に合わせて基準値見直し	kg-CO ₂	2017年6月実績 13,880 kg-CO ₂ (6台) 1台あたり 2313.3 kg-CO ₂	2017年7月～12月目標値以下に抑制する 1月～5月目標 7台換算 80,965 6月～12月目標 8台換算 129,545 年合計 210,510	目標値以下に抑制する 194,320 (7台換算)	目標値以下に抑制する 194,320 (7台換算)
運搬車両燃費向上	3年間で3%向上	計画当初	km/L	6.075	1% 6.136	2% 6.197	3% 6.257
運搬車両燃費向上	燃費向上	2018年1月目標改定	km/L	2017年度実績 5.973km/L	目標値以上に向上する 5.973	目標値以上に向上する 5.973	目標値以上に向上する 5.973
一般廃棄物排出量削減	3年間で3%削減	計画当初	kg	129.6	▼1% 128.3	▼2% 127.0	▼3% 125.7
収集運搬量拡大	3年間で3%拡大	計画当初	トン	4,946	1% 4,995	2% 5,045	3% 5,094
グリーン購入	再生紙の利用	計画当初	推進	再生紙利用	再生紙利用	再生紙利用	再生紙利用
—	優良産廃業者認定への取り組み	優良産廃業者認定への取り組み	推進	—	産廃ネット情報公開	優良認定申請	優良認定継続

注・平成27年度二酸化炭素排出係数（東京電力エナジーパートナー調整後排出値）0.491(kg-CO₂/kWh)を使用

注・下線部分は2018年1月に目標値改定

10. 環境活動実績

項目	活動の基本方針	基準値	2018年度	実績値 2018年 1月～12月	コメント
		(目標ごとに設定)	目標値/年		
二酸化炭素排出量削減	3年間で3%削減	2017年6月実績 13,880 kg-CO ₂ (6台) 1台あたり 2313.3 kg-CO ₂	210,510kg-CO ₂ (1台あたり2313.3kg-CO ₂ 以下とする。なお、車両増減に合わせて月ごとの目標値を改定する。) 1月～5月目標 7台換算 80,965 6月～12月目標 8台換算 129,545 合計 210,510kg-CO ₂	206,586 kg-CO ₂	○目標達成 エコドライブの推進に取り組み二酸化炭素排出量削減につながった。また、配車調整、運搬ルートの見直しにより1台あたりの軽油使用量が削減できた。
運搬車両燃費向上	3年間で3%向上	2017年度実績 5.973 km/L	2018年度前期目標値 5.973km/L 以上に向上する 2018年度後期目標 増車のため現状把握	5.76km/L	○目標達成 2018年度後期開始時点で重量車を増車したため、目標を現状把握と改訂し、実績把握できた。
一般廃棄物排出量削減	3年間で3%削減	2016年度実績 129.6 kg	▼2% 127.0 kg	88.2 kg	○目標達成 分別箱を設置して、分別を徹底できた。
収集運搬量拡大	3年間で3%拡大	2016年度実績 4,946 トン	2% 5,045 トン	9,255 トン	○目標達成 顧客の排出物に合わせて、丁寧な営業提案活動できたことにより、大幅な目標達成となった。基準の2016年と比較すると、187%増の拡大となった。
グリーン購入	再生紙の利用	再生紙利用	再生紙利用	再生紙利用 100%	○目標達成 再生紙を継続して使用する。
—	優良産廃業者認定への取り組み	優良産廃業者認定への取り組み	産廃ネット情報公開	2018年8月2日から公開を開始	○目標達成 優良産廃業者認定に向けて、産廃ネットにて情報公開が完了した。

注・平成27年度二酸化炭素排出係数（東京電力エナジーパートナー調整後排出値）0.491(kg-CO₂/kWh)を使用

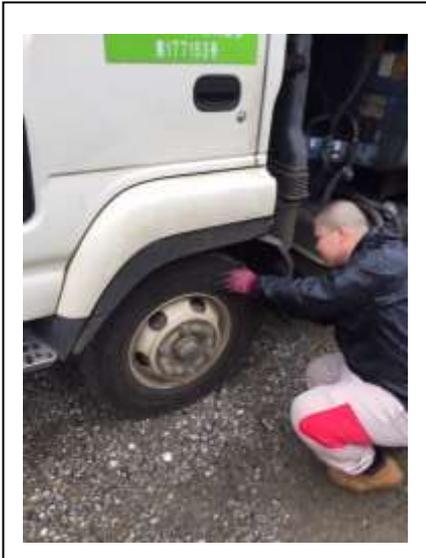
11. 環境活動内容と取組結果の評価

環境目標	環境活動内容	取組結果	評価
①二酸化炭素 排出量削減	燃費データ把握、エコドライブによる燃費向上	エコドライブステッカーを車両に乗せてエコドライブに率先して取り組んでいる。ドライバーの燃費向上の意識が向上している。	4
	Fun to share への参加継続、活動推進	環境省 Fun to share「グリーンなアイデアとネットワークで、低炭素社会へ」の取組を継続し、低炭素社会の実現へ取り組んでいる。	5
②車両燃費向上	燃費データ把握	増車した車両も含めて、車両ごとに燃費データが把握できた。	5
	エコドライブの推進	エコドライブステッカーを車両に携帯し、エコドライブに取り組んでいる。	5
	車両点検の実施	出庫前に点検を実施している。	5
	エコドライブ手順の作成・教育	エコドライブ手順を活用し、教育を実施している。2018年1月と8月に外部講師を招き、安全・エコ運転講習を実施した。	5
	走行ルート見直し	廃棄物の発生量に合わせた車両選定、走行ルートの見直しを推進している。事故情報をグループ line で共有し走行ルートの見直しを推進している。駐車場会議においてもコミュニケーションをとっている。	4
③廃棄物の削減	分別教育の徹底	分別教育を実施し、分別の重要性を周知した。	4
	分別箱の設置	分別箱を新たに設置し、分別が出来るようになった。	4
④収集運搬量の拡大	廃棄物及び資源物活用コンサルティングの提案推進	顧客の排出状況に合わせ、廃棄物処理業者とコミュニケーションを深めることにより、廃棄物及び再資源化の提案やアドバイスが丁寧に実施できた。	5
	ホームページの情報更新継続	当社の特徴をさらに分かりやすくするため、ホームページの全面改訂を検討している。	3
⑤グリーン購入	再生紙の利用継続	コピー用紙すべてで再生紙を使用している。	4
	エコマーク商品の調査・検討	事務用品の購入品でエコマーク商品を調査した。	4
⑥優良認定業者への取り組み	産廃ネットへの情報公開	優良産廃業者認定に向けて、産廃ネットにて情報公開が8月2日に完了した。必要に応じて情報公開内容を更新する。	4
	優良認定申請の準備	情報公開開始できたため、申請様式を入手した。	3

(評価点) 5点：90%以上 4点：70%以上 3点：50%以上 2点：30%以上 1点：30%未満
 (スケジュールに対する進捗度等の対計画比で評価する。)

12. 緊急事態対応訓練

2018年8月3日に更科駐車場にて、収集運搬時緊急事態対応訓練を実施した。収集運搬時緊急事態対応手順書の読み合わせ等を行い、緊急事態発生時の連絡方法や対応方法について再確認しました。また、車両の整備について作業方法を確認し事故防止に取り組んでいます。



13. 環境コミュニケーション

○廃棄物及び資源物活用コンサルティング事業において、再資源化・リサイクルルートを顧客へ提案し、顧客の工場等から排出される廃棄物や資源物のリサイクル推進に取り組んでいます。また、排出事業者に対して、マニフェスト記載方法説明会、リサイクル処理先案内等のサービスを実施しています。



○排出事業者の担当者は最終処分までの廃棄物の流れを把握必要があるため、弊社では中間処理場や最終処分場の見学に同行し、産業廃棄物排出方法や適正処理状況の確認の支援をしています。



○当社ホームページにてお問い合わせ対応、情報公開に取り組んでいます。



○一般社団法人千葉県産業廃棄物協会の会員として廃棄物処理法や適正処理に関する情報収集に取り組んでいます。

14. 環境関連法令の順守状況の確認

当社に関連する環境関連法令は以下の通りです。なお、2019年1月31日に順守評価を実施し、問題ありませんでした。

また、違反及び訴訟はありません。

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・自動車 NO_x、PM 法
- ・道路交通法
- ・道路運送車両法

15. 次年度の取り組み計画

2019年1月、目標改定

項目	活動の基本方針	単位	(基準値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量削減	基準値以下に抑制	kg-CO ₂	206,513	基準値以下に抑制する	基準値以下に抑制する	基準値以下に抑制する
				206,513	206,513	206,513
運搬車両燃費向上	基準値以上に向上	km/L	5.76	目標値以上に向上する	目標値以上に向上する	目標値以上に向上する
				5.76	5.76	5.76
一般廃棄物排出量削減	3年間で3%削減	kg	88.2	▼1%	▼2%	▼3%
				87.3	86.4	85.6
収集運搬量拡大	3年間で3%拡大	トン	9,255	1%	2%	3%
				9,348	9,440	9,533
水使用量削減	基準値以下に抑制	kg	24	基準値以下に抑制する	基準値以下に抑制する	基準値以下に抑制する
				24	24	24
グリーン購入	再生紙の利用	推進	再生紙利用	再生紙利用	再生紙利用	再生紙利用
—	優良産廃業者認定への取り組み	—	推進	優良認定申請	産廃ネット情報更新	産廃ネット情報更新

注・平成29年度実績二酸化炭素排出係数（東京電力エナジーパートナー調整後排出）0.474(g-CO₂/kWh)を使用

16. マネジメントレビュー

2018年1月から2018年12月までの1年間の環境活動について社長及び環境管理責任者が出席し、マネジメントレビューを実施した。

報告・評価

- ・従業員一人一人の努力が実り、すべての目標で目標達成となった。特に、収集運搬量の拡大目標については、廃棄物及び資源物有効活用コンサルティング事業による提案活動の努力が実り、目標値を大幅に上回ることができ。これらの提案活動への取り組みが、循環型社会の実現につながっているため、今後も努力を継続する。
- ・本社移転後環境負荷について実績が集計できたため、新たな3カ年計画を作成すること。なお、二酸化炭素排出量削減目標については、今後も運搬量拡大傾向が予想されるため、基準年度以下を目標設定とする。
- ・燃費向上目標については、お客様の排出状況に合わせて車両選定や運搬ルート見直しへの取組成果が出ているため、今後も継続すること。

指示事項

- ・環境方針については変更なし。
- ・環境目標については、3カ年計画を見直すこと。
- ・顧客の排出状況を確認し、廃棄物処理業者とコミュニケーションを深めることにより、廃棄物及び再資源化の提案やアドバイスを継続すること。
- ・産業廃棄物業者の優良認定制度への取り組みを行うこと。